

平野区民ホールについて

資料 11-B

—区民ホールってどんなところ？—

1 年 3 組 H 班

〇〇〇〇 〇〇〇〇
〇〇〇〇 〇〇〇〇

1. 『区民ホール』って、何？

平野区民ホールは昭和 52 年（1977 年）に建てられた区の施設です。区民ホールは、「コミュニティ活動及びコミュニティ施設の運営を通じて、心のよいあう連帯感のある町づくりを推進するとともに、区民の文化の振興及び福祉の向上並びに地域社会の発展に寄与すること」（大阪市生涯学習情報提供システムより抜粋）ということです。簡単にいうと、「区民同士の交流を深め、平野区をもっとよい町にする」ということです。ここでは、様々な講座・行事が催されています。どんなものが催されているか、また、どんな仕事をしているかということ調べてきました。

2. 調べ学習の流れ

区民ホールは平野消防署の隣にあります。私達は、JOIN DAY の第 1 回目に職員の山西さんに区民ホールの概要をうかがい、第 2 回目に施設内の見学をさせて頂き、1 回目の説明について具体的に質問をしました。それから 4 人で話し合い、模造紙にまとめ、JOIN の発表会で発表しました。

3. 区民ホールの仕事

区民ホールでの主な仕事は、大きく分けて 3 つ、「行事を主体的に行う仕事」「区民ホールの施設を貸し出しする仕事」「事務局になる・事務局を設置する仕事」に分かれます。

「行事を主体的に行う仕事」は、講座や行事を計画・実行します。どの催しも、大人から子供までたくさんの人が楽しめる、ということが考えられたものになっています。講座は主に 16 個ぐらい行なっていて、その種類は様々。健康体操・ヨガ教室などからだを動かすものから、ちぎり絵・押し絵教室などの手先を使うものまであります。また夏休みには、特別企画として、茶道の教室（写真 1 参照）・夏祭り・「夏休みの宿題、手伝います！！」という講座など、たくさんの催しがありました。

「区民ホールの施設を貸し出しする仕事」は、依頼者によって異なり、会議や映画の上映会が行われています（写真2参照）。利用回数が多いのは、隣にある平野消防署の人たち。会議室をよく利用するのだそうです。

「事務局になる・事務局を設置する仕事」は会費を集め、会合の連絡・調整をします。現在は、『平野子ども会』の事務局をしているそうです。

職員の山西さんに、ここでの仕事についてうかがいました。仕事をやっていて一番やりがいを感じる時は区民の人の役に立てたり、利用者に喜んでもらえたりした時だそうです。現在は「平野人材バンク」という新しいプロジェクトに取り組んでいらっしゃるそうです。

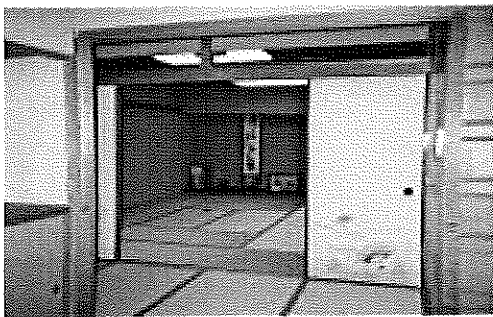


写真1：茶道教室などに使われる
和室

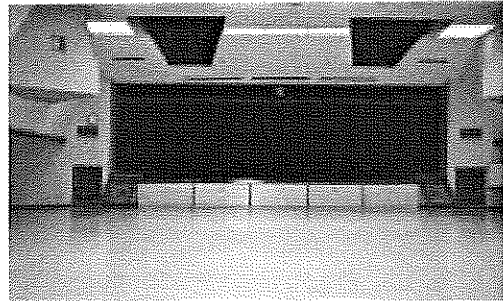


写真2：映画の上映会などに使われる大ホール

4. 1年間、平野区民ホールのことを調べてきて・・・

区民ホールは、「文化」を伝えて、残していく場所です。でも、「文化」とは何なのでしょう？辞書には、『人間が自然に手を加えて形成してきた、衣食住をはじめとする生活形式の様式と内容』とありましたが、言葉にすると抽象的でつかみどころがないな、と思いました。先生は『文化とは3つのF（Festival＝祭り・Food＝食べ物・Fashion＝服装）に代表されることが多い』とおっしゃっていました。その『3つのF』は時代によって変わっていくものなので、それを残し受け継いでいかないといけない、それが「文化」なのだと1年間調べていくうちに、少し分かった気がします。

最後になりましたが、お忙しい中で私たちの取材に応じていただいた平野区民ホールの山西さんに、この場を借りてお礼申し上げたいと思います。

※掲載している写真は、担当者が許可をもらって撮影しました。